

2023年度

科目名称	動物臨床検査学
授業コード	BC251
英語名称	
学期	2023年度後期
単位	2.0
担当教員	岩花 倫生 (生命環境学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方、所見の記録方法を修得する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	製薬会社における創薬研究と獣医系大学大学院の博士課程で研究に携ったことから、知識と技術と経験を授業に活用する。
到達目標	ディプロマ・ポリシーにおける「人と動物の『共生』」についての科学的な専門知識と調査・研究手法を身につけている。また、カリキュラム・ポリシーにおける関係資格取得のための必須科目であり、専門的な知識と技術を実践的に修得する。 これらのポリシーに基づき、動物病院業務に必要な臨床検査学の知識をコアカリキュラムに則って修得する。 動物臨床検査の目的や検査の際に動物に与える影響を理解し、説明できる。
計画・内容	第1回 臨床検査の概要：臨床検査における愛玩動物看護師の役割、基準値、感度、特異度、精度管理、検体採取法、Point of Care 第2回 血液検査（1）：血漿、血清の分離法、全血球計算法（CBC）、血液塗抹の作製及び観察法、ヘマトクリット検査、凝固検査 第3回 血液検査（2）：血液化学検査、血液ガス検査、免疫学的検査 第4回 尿検査：取扱い、尿の性状と検査の種類、尿沈渣 第5回 糞便検査：採便、寄生虫、虫卵細胞診と病理組織検査：検体の採取、細胞診断の目的と方法 第6回 細胞診と病理組織検査：検体の採取、細胞診検査および病理組織検査の目的と方法 第7回 遺伝子検査：検体の採取及び取扱い、遺伝子検査の目的と方法 第8回 心電図検査と血圧測定：分類、検査の実際、評価、血圧の測定方法と評価 第9回 超音波検査：装置の原理、検査でわかること、超音波を用いた様々な検査 第10回 内視鏡検査：消化器内視鏡検査、スコープの洗浄と消毒、その他の内視鏡 第11回 その他の画像検査：CT、MRI、核医学検査 第12回 神経学的検査：検査に必要な器具、検査方法 第13回 眼科検査：眼科検査の種類と目的、方法 第14回 皮膚と耳の検査：押捺塗抹、テープストリッピング、搔把検査、ウッド灯検査、オトスコープ 第15回 動物臨床検査学のまとめ：知識の整理と確認
授業の進め方	教科書に沿ってスライド、ビデオ等を使用し、最新の情報を盛り込み解説する。 授業の最後に知識と理解度を確認する
能動的な学びの実施	対象外
授業時間外の学修	授業で解説する内容が記載されている教科書のページを紹介しているので、通読すること、また、授業後の小テストで知識を確認し、不明確なところは教科書で確認する他、理解できないことはメール等で質問する。 授業毎、予習2時間、復習2時間程度を目安とする。授業15回で60時間となる。
教科書・参考書	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書7巻 動物内科看護学/動物臨床検査学 2022年2月 改訂新版第1刷発行 一般社団法人 日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会 発行所：株式会社インターズー 参考書：asBOOKS犬と猫の血液学(DVD付)（必須ではない）著：久末正晴 出版：エデュワードプレス

2023年度

成績評価方法と基準	小テスト実施状況（40%）、課題の提出状況（20%）、知識確認試験（60%）の合計（100%）を総合的に評価する。
課題等に対するフィードバック	小テストと課題は適宜解説する。また、理解度（小テストの点数および課題の評価）を都度フィードバックする。
オフィスアワー	CampusSquareを参照。
留意事項	授業の出席は必要日数（10回以上）を満たし、小テストの実施と提出および課題の提出、知識確認試験を受けないと単位を付与することはできない。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>Zoomによるライブ授業を行い、記録から出席状況を把握する。課題、小テストはアンケートなどを活用し、提出すること。</p> <p>成績はライブ授業の出席状況（10回以上）と小テストおよび課題の提出状況、知識確認試験の結果を総合的に評価する。</p> <p>ライブで授業を受けられない場合は録画を視聴するように準備する。録画を視聴した場合はその旨を報告する。小テストで、知識を確認する。小テスト実施状況（40%）、課題の提出状況（20%）、知識確認試験（60%）の合計（100%）を総合的に評価する。</p>